

福高縣水産試験場  
圖書第八三八號

明治卅七年度

# 鹿兒島縣水産試験場報告

# 明治三十七年度鹿兒島縣水產試驗場報告

## 目次

一 鱗流網貸與試驗	一
構造價格仕様書	一
本網製作上ノ注意	二
試驗地方ノ海況	二
使用法	二
漁獲表	四
一 鯉餌料試驗	六
第一活籠試驗	六
第二籩試驗	七
第三唧筒試驗	八
一 鯉巾着網試驗	九
試驗日誌	九
日誌	九
一 鯉揚繰網試驗	十三
日誌	十三

一 鱧延繩貸與試驗

十七

一 旗魚延繩貸與試驗

十七

一 講話

十八

# 鹿兒島縣水產試驗場報告

## 鱒流網貸與試驗

### 試驗ノ主旨

本縣近海ハ毎年鱒、鮪ノ來游多シト雖モ鱒ハ主トシテ釣獲シ其他ハ僅カニ地曳網ヲ以テ他魚ト混ジ捕獲セラル、ニ止マリ魚群ヲ追フテ隨所ニ使用シ得ルノ網具未ダ行ハレズ鮪モ亦一本釣及大敷網以外ニ漁法ナシ殊ニ大敷網ノ如キハ近來ノ漁獲高ヲ昔時ノモノニ比スレハ殆ト十分ノ一ニモ及ハスト云フ惟フニ鮪ノ來游昔日ノ如ク多カラサルニ因ルヘキ乎然レトモ從來ノ大敷網漁法ノ如ク沿岸ニ漁群ノ來游ヲ待タンヨリハ自ラ進ンテ之ヲ洋中ニ捕獲スルノ方法ヲ講究セサル可ラス此ニ於テ本場ハ鱒、小鮪ヲ漁センカ爲メ比較的調製費少ク漁夫モ多數ヲ要セスシテ却テ使用區域ノ廣汎ナル流網ヲ調製シ先ツ之ヲ川邊郡知覽村漁業者ニ貸與シ試驗ヲナサシムルコト、セリ今其構造、價額等ヲ記スレバ左ノ如シ

### 構造價格仕樣書

材料	材料ノ構成	數量	單價	合計	仕樣
網地	麻二千撚糸ニテ蛙股編、四寸二分目横五十拵、桐材長サ八寸巾八分厚七分	三千間	拾貳錢	參百六拾圓	網地ヲ二十間宛ニ切り其三切ヲ横ニ三段ニ縫合ハセ一枚トシ之ヲ十間ニ縮結ス
浮子	桐材長サ八寸巾八分厚七分	一千個	壹錢貳厘	拾貳圓	縮結シタル網地一間ニ付二枚宛ヲ結附ス
浮子繩	棕櫚二千撚糸經一分	一千間	貳錢貳厘	貳拾貳圓	十間宛ニ切り二條ヲ以テ其間ニ定數ノ浮子ヲ挾ミ之ヲ網ノ上緣ニ附ス
縫糸	麻二千撚糸百間ノ重量五十匁	七百匁	參拾五錢	貳圓四拾五錢	各網地ヲ縫合ハセ又ハ附子結附用トス

鱒流網貸與試驗

浮標	桐材丸太ニシテ長一尺六寸 經二寸五分許	百二十五個	參錢	參圓七拾五錢	一個ニ付浮標網一條宛ヲ結附ス
浮標網	麻ニ子擦リ 經一分二厘	六百廿五間	參錢	拾八圓七拾五錢	長サ五間宛ニ切り其一端ヲ浮標ニ他ノ一端ハ 浮子八枚目毎ニ浮子網ニ結附ス
浮樽	高一尺二寸上口經一尺 三寸底經一尺一寸	四個	參拾五錢	壹圓四十錢	夜間此樽ノ内ニ點火スヘキ裝置ヲナシ網全體ニ 四個ヲ配置シ目標トス
染料	乾懈皮	四十貫	四拾錢	拾六圓	八貫目宛ヲ煮沸シ網地ヲ五回染トス
人夫		四十人	四拾錢	拾六圓	總數四拾人ヲ要ス

### 本網製作上ノ注意

前記ノ構成法ニ依ルトキハ仕立上ケ網五百尋ヲ得ヘシ元來本網ノ主旨ハ游泳シ來ル魚族ニ網ノ存在ヲ悟ラシメヌシテ不知ノ間ニ自ラ網ニ纏絡セシメ以テ捕獲スルモノナレハ網糸ノ大ニ過クルハ最モ忌ムヘク且ツ縮結ヲ充分ニシ網裾ニハ沈子ヲ附セサルハ勿論ナリ

### 試驗地方ノ海況

薩摩半島ノ南端ニ位シ東方開聞岬ヨリ西方立神岬ニ至ル間廣濶ナル灣形ヲナシ岬港ノ出入甚シカラス而シテ一里乃至五六里ノ沖合ニハ幾多ノ暗礁アリ就中松ヶ浦沖ノぶり會根、門ノ浦、沖ノ高會根及ビ之ヨリ南東沖ニ位ズル今會根等ハ明治初年ノ頃鱒業ヲ以テ有名ナルモノ又鹿籠前ト稱シ枕崎沖三里許ニ存在スル暗礁ニ於テハはかつを、あかばら、さば等ノ夜焚漁業熾盛ヲ極メ枕崎ノ東岬あかくへノ東南二三里ノ沖合ニ散在スル暗礁ニ於テハ夏秋鱒、旗魚ノ群栖スルコト夥多ナリ狀態斯クノ如クナルヲ以テ先ツ此沿岸ニ於テ試業センカ爲メ前記知覽ノ漁業者ニ斯網ノ貸與ヲ爲スコト、シタル所以ナリ

### 使用法

本業ハ他ノ漁業ニ比シ稍遠洋ニ出漁スルモノナルヲ以テ可成の漁船ノ堅牢ニシテ大ナルヲ要シ其大サ少クトモ肩巾八尺内外ナラサル可カラス而シテ網ハ表ノ方ニ於テ操縦スルモノナレハ此部分ノ積載力ヲ強クシ且ツ網ハ纏絡セサル様裝置スルヲ要ス

本網ヲ船ニ積入ル、ニハ胴ノ間及表ノ間ヲ以テ之レニ充テ胴船梁表際ニハ浮標ヲ置クヘキ餘地ヲ淺シ浮子方ヲ胴ノ間ニ裾方

ナ表船梁迄延バシ身網ト混亂セサル様注意ヲ加ヘ順次ニ積入レ浮標ニハ各五尋宛ノ網ヲ附シ張下ノ際容易ニ浮子網ニ結附シ得ラル、様整頓シ置クヘシ如斯シテ一切ノ準備ヲ終レハ日没前(月夜ニハ月ノ没スル迄ハ網ヲ使用セス)漁場ニ到達スヘク出帆シ已ニ漁場ニ達スレハ詳細ニ潮流ヲ調査シ張網後一二時間以内ニ尤モ適良ナル會根ノ上ヲ流ルヘキ距離ヲ計リ潮流ヲ横切リ張下スヘシ

網ヲ張下スルニハ先ツ四個ノ浮樽ニ點火シ徑二分長サ六尋餘ノ網ヲ以テ其一端ヲ浮樽ニ他ノ一端ヲ浮子網ニ結ヒ靜カニ水面ニ浮ヘ網裾ノ一端ニハ拳大ノ石ヲ結附シ裾方ニ一人中央ニ一人浮子方ニ一人ヲ配置シ浮子方ト裾方トハ能フ限り引分ケツ、網ヲ投入ス更ニ一人ハ浮木方ニ在リテ浮標網ノ一端ヲ他ノ一人ニ渡シ浮子八個目毎ニ一ヶ所宛設ケタル「つば」ニ之レヲ結附シテ投下スルナリ元來本網ハ其構造上最モ纏絡シ易キニツキ若シ網自身ニ纏絡錯亂スル等ノコトアレハ之レヲ解クニ手數ヲ要スルコト大ナルヲ以テ投網ノ際深ク注意スルコト緊要ナリ

張網ノ際船ヲ前進スルニハ矢帆又ハ櫓ヲ用ユレトモ櫓ヲ用フルトキハ動モスレハ網ハ櫓ニ纏絡シ張下困難ナレハ是レ亦大ニ注意ヲ要ス如斯シテ已ニ張網シ終レハ網ヲ檢シツ、首メノ一端ニ戻リ此處ニ船ヲ止メ櫓一二挺ヲ以テ適度ノ位置ニ於テ網ニ遠サカラサル様網ト共ニ流レツ、點火セル浮樽ニ注目スヘシ若シ潮流ノ方向ニ急變アルカ或ハ不慮ノ障礙物ニ遭遇スル等ノコトアレハ浮樽ノ位置ニ著シキ變動ヲ生シ又ハ燈火滅スルニ依リ直ニ網ヲ揚ケ更ニ適當ノ位置ヲ計リテ投下スヘシ

凡ソ魚類ハ月没後二三時間若クハ日出前一二時間ノ間ニ最モ活潑ニ游泳スルモノナレハ、此間ハ網ニ纏絡錯亂スルコトナカラシムヘシ又終夜流ル、間ニハ一回乃至二回ハ必ス網ヲ繰上クヘシ(夜半頃一回ハ必ス上クルヲ良トス)此時魚ノ懼リ來ルアレハ其部分ニ網ヲ集メテ可成の多ク魚ニ纏絡セシメ若シ旗魚ノ如キ體ノ巨大ナルモノナレハ水面ニ於テ大鈎ニ掛ケ網ト共ニ引揚ケ捕獲ヲナスヘシ

以上ハ使用法ノ概略ナレトモ季節若クハ魚ノ種類ニ依リ游泳スルニ深淺ノ差アル場合ニ於テハ浮標ノ網ヲ伸縮スルヲ要ス之レ等ハ經驗ヲ積ムニアラサレハ豫知スルコト困難ナリトス

漁獲表

月日	魚種	數量	
		尾數	斤量
八月二十五日	かじき	三	百四十八斤
同	かつを	一	十二斤半
同	のくり	一	四斤
八月二十六日	かじき	二	六十四斤三合
八月二十九日	かじき	五	二百七十斤
九月五日	かじき	三	百四十三斤七五
九月二十日	かじき	一	五十八斤七五
同	さわら	一	二十二斤
九月二十一日	さわら	二	四十四斤三
同	かじき	二	七十五斤
九月二十三日	さわら	三	四十斤五
九月二十五日	かじき	二	九十二斤半
同	のくり	一	四斤
九月二十六日	かじき	五	二百五十二斤一
九月二十七日	かじき	一	六十二斤半

同	さ	は	ら	一	十五斤三
同	小	し	び	三	六斤
九月二十八日	か	じ	き	七	四百二十五斤
同	小	し	び	二	五斤
十月三日	は	か	つ	九	四十八斤六五
同	し	ゆ	もくさめ	一	十八斤
十月四日	は	か	つ	三	七十三斤
同	し	ゆ	もくさめ	一	三十斤四
十月五日	は	か	つ	六	四十二斤一
同	い	わ	し	八〇	六斤一
十月六日	さ	ば		一	一斤
同	い	わ	し	一〇	一斤
合計				一六七	千九百五十五斤三

前表ニ示スカ如ク八月下旬ヨリ試験ニ着手セシニ此季ニ於テハ試験地近海一體ニ旗魚ノ游泳多ク出漁毎ニ多少ノ漁獲アリ九月下旬ニハ鱈小鮪十月ニハはかつを等季節ニ随ヒ相當ノ漁獲ヲ爲シ其他鱈等ニ至ルマテ多種ノ魚類ヲ捕獲セシヲ以テ大ニ世人ノ注目スルトコロトナリ他ニ之レカ計畫ヲ望ムモノアルニ至レリ然レトモ十月以後ハ夜間突然あがり風ノ襲來スルコト多ク危険少カラサルニツキ本年度ニ於テハ試験ヲ中止シ三十八年度ニ於テ引續キ試験ヲナスコト、セリ



## 鯉餌料試験

本試験ハ前年度ヨリ繼續ノ事業ニシテ同年度ニ於テハ第一鯉ヲ活ケ樽ニ放養シタル後潮替ヘヲナスニ手動唧筒ヲ用ヒテ勞力ヲ省クコト第二鯉ハ活ケ籠内ニテ飼養シ得ルモノナルヤ否又如斯シテ數日間馴養シタルモノヲ船籠ニ移シ凡ソ幾日間生活シ得ルヤヲ視ルコト第三熊本縣天草郡地方ニ飼養セル鯉ヲ購入運搬シ鯉ト對比シテ經濟上ノ試験ヲナスコトノ三項ニ別チテ試験シ其結果第三ノ方法ハ充分ノ好成绩ヲ得タルヲ以テ本年度ハ専ラ鯉ノミニ就キ左ノ三項ニ別チテ試験ヲナシタリ

第一 餌料トシテ捕獲シタル鯉ヲ活籠ニ入レ一定ノ場所ニ飼養スルコト

第二 前法ニ據リ活籠内ニテ數日間馴養シタルモノヲ更ニ活魚籠ニ移シ凡ソ幾日間生活シ得ルヤヲ見ルコト

第三 從來ノ如ク鯉ヲ活ケ樽ニ放養シタル後手動唧筒ヲ用ヒテ勞力ヲ省クコト

第一活籠試験 活籠ハ前年ト同シク野間池港内海水ノ流通好キ處ヲ撰定シテ浮設シタリ

第一日 かせ島附近ニ於テ捕獲シタル鯉凡ソ五升ヲ甲竹籠ニ凡ソ六升ヲ棕栝緘子織製籠ニ放養ス

第二日 早朝活籠内ノ鯉ヲ撿スルニ緘子織製籠内ノモノニ二升竹籠内ノモノニ二升餘斃死セリ

第三日 早朝活籠内ヲ撿スルニ甲竹籠内ニハ一尾モ斃死シタルモノナシト雖モ緘子織製籠ノモノハ凡ソ一升許斃死セリ爰ニ於テ緘子籠ノモノハ悉ク甲竹籠ニ移シタリ

第四日 籠内ヲ撿スルニ鯉ハ漸次籠内ノ生活ニ馴レ體色淡黄ヲ呈シ游泳活潑ナリ

かせ島附近ニ於テ捕獲シタル鯉凡ソ五升ヲ甲竹籠ニ放養ス

第五日 かせ島附近ニ於テ捕獲シタル鯉凡ソ六升ヲ甲竹籠ニ放養ス

第六日 かせ島附近ニ於テ捕獲シタル鯉凡ソ六升ヲ乙竹籠ニ放養ス

第七日 籠内ヲ撿スルニ甲竹籠ノモノハ異狀ヲ認メス乙竹籠ノモノハ籠内ノ生活ニ馴レス游泳亂雜ニシテ斃死セルモノ凡

一升餘アリ

第八日 かせ島附近ニ於テ捕獲シタルモノ凡ソ五升ヲ乙竹籠ニ放養ス

第九日 籠内ヲ檢スルニ甲竹籠ノモノハ異狀ヲ認メス乙竹籠内ニハ斃死セルモノ一升五合餘アリタルモ殘存セルモノハ漸次籠内ノ生活ニ馴ル、ヲ認ム

第十日 かせ島附近ニ於テ捕獲シタル鰻凡ソ六升ヲ乙竹籠ニ放養ス

第十一日 かせ島附近ニ於テ捕獲シタル鰻凡ソ四升ヲ乙竹籠ニ放養ス

第十二日 ヨリ第十五日ニ至ル間ハ毎日數回ツ、籠内ヲ檢スルニ甲竹籠内ニハ斃死シタルモノヲ認メス乙竹籠内ヨリ多少ノ斃死ヲ出シタルモ殘存セルモノハ日ヲ累ヌルニ從ツテ籠内ノ生活ニ馴レ游泳活潑ニシテ體色淡黃ヲ呈セリ然レトモ鰻ハ漸次馴ル、ニ隨ヒ籠ノ小孔ヨリ逃逸スルモノ多シ

## 第二禦試驗

本試驗ハ前年度ニ於テ稍良好ノ成績ヲ得タリト雖トモ尙試驗ヲ要スヘキ點アルヲ以テ本年度ニ於テハ十日間以上活籠内ニ馴養シタル鰻ヲ船ノ胴活ケ間（長サ四尺六寸巾四尺六寸）ニ正味凡ソ五升表活ケ間（長サ三尺四寸巾四尺三寸）ニ正味凡ソ三升ヲ放養シ午前十時根據地野間池ヲ出帆シ晝間ハ帆走或ハ漕行シ夜間ハ港内或ハ洋中ニ碇泊シ晝夜繼續試驗ヲナシタリ此間時々活籠内ヲ檢スルニ胴活ケ間ノモノハ群集シテ橢圓形ニ游泳シ樽飼ヲナセルモノト少シモ異ナルコトナク四日間ノ内ニ斃死シタルモノハ僅ニ五十餘尾ニ過キス表活ケ間ノモノハ游泳ノ方向區々ニシテ一定セス第一日ノ日暮迄ニ斃死シタルモノ五十尾餘第二日目ノ朝ニ至リテハ僅カニ二三十尾ヲ殘シ他ハ悉ク斃死シタリ斯ク胴活ケ間ノモノハ良果ヲ收メ得タルニ反シ表活籠ノモノハ僅カニ一晝夜ヲ經スシテ殆ント悉ク斃死シタルハ其原因何レニアルカハ今俄カニ斷定シ能ハスト雖モ惟フニ表ノ間ハ胴ノ間ヨリ其動搖ノ程度到底相比スヘクモアラサルト又一ハ表ノ間ニハ唧筒試驗ヲ爲シタルトキノ種子油多少附着セシモノアリテ（充分ニ掃除ヲナシタレトモ多少ノ油ハ附着セシヲ免レス）最初活籠ヨリ鰻ヲ移スニ當リ活籠内ノ水多少溷濁シ居リタルヲ以テ之等ノ爲メ斃死シタルモノニハ非ルカ尙ホ明年度ニ於テ充分ノ講究ヲナシ更ニ其結

果ヲ報告スヘシ

### 第三 唧筒試験

潮替ヲナスニ唧筒ヲ使用スレハ從來ノ方法ニ比シ勞力ヲ省キ得ルヲ勿論ナリト雖トモ前年度試験ニ於テハ鯨ノ大小及産卵前後ト容器及海水注入量トノ割合海水渦狀動ノ工合等ハ鯨ノ生活上大ナル關係ヲ有スルコトヲ知り得タルノミニシテ止ミタルヲ以テ本年度ニ於テハ唧筒吐水口ノ構造法ニ付キテ大ニ苦心ヲナシ種々試験ノ結果巾三寸五分厚二寸長サ一尺四寸ノ木樋ヲ中央部ニ於テ僅カニ鈍角ニ折リ之レヲ樽ノ内側ニ接シ其半以上ヲ樽内ノ水面下ニアラシメ其上端ノ口ニ唧筒ノ吐水口ヲ嵌入スルノ裝置ヲナシ之レニ依リテ三日間繼續試験ヲナシタルニ此簡單ナル方法ハ却テ好結果ヲ表ハシ鯨ノ斃死スルモノ大ニ減シタリ

前年度以來夜半ニ至レハ樽内ノ鯨絶ヘス水面ニ浮上シ從來ノ方法ニ據レルモノニ比シ其割合非常ニ多ク之レカ爲メ汲出シ用ノ柄杓ニ打タレ或ハ汲出サル、モノ多キヲ以テ其原因ニ就キ種々研究セシニ試験用ノ唧筒ハ全體金屬製ニシテ烈シク使用スルトキハ大ナル音響ヲ發シ鯨ハ之ニ恐怖シテ浮上スルモノナルコト明白シタリ故ニ將來ハ唧筒ニ改造ヲ加ヘ音響ヲ發セルニ至ラハ其結果大ニ良好ナルヘキヲ確信ス

唧筒吐水口ノ構造改良ハ稍々良好ナル成績ヲ得タルノミナラス夜間鯨ノ浮上スル原因モ亦明白トナタルヲ以テ今回ハ一週間以上活籠内ニテ訓練シタルモノヲ樽ニ移シ徐々唧筒ヲ使用シタルニ第一日ノ日暮マテニ斃死シタルモノ凡ソ二合餘ニシテ第二日午前一時樽内ヲ檢スルニ鯨ハ活潑ニシテ一團トナリ順序能ク渦狀ニ游泳セリ同日午前七時マテニ斃死シタルモノ凡ソ二合二三勺同日暮マテニ更ニ二十尾餘斃死シタリ第三日午前二時樽内ヲ檢スルニ鯨游泳ノ状態ハ前日午前一時頃ノ模様ト取テ異ナルコトナク同日午前七時マテニ五十一尾同正午マテニ六尾斃死シタリ

初日以來斃死シタルモノハ合計五合許ニシテ全量ノ十二分ノ一ニ過キヌシテ大ニ好結果ヲ得タリ

以上記スル處ニ依リテ之ヲ觀察スルニ捕獲シタル鯨ハ活籠内ニ於テ十日間以上生活シ得ルノミナラス斯クシテ馴養シタルモノハ之レヲ樽内ニ移シ唧筒ヲ用ヒテ潮替ヲナスモ又船活間ニ放養スルモ能ク數日間生活シ得ルモノナルコトヲ確知セリ

## 鯉巾着網試験

本試験ハ三十六年度ヨリ繼續ノ試験ニシテ前年度ニ於テハ網具遲着ノ爲メ漁期ヲ失シ網ヲ使用スルコト僅カニ十二回ニシテ只其用法ヲ漁夫ニ傳習セシメタルニ止メタルヲ以テ本年度ニ於テハ從來羽鯉ノ漁獲ヲ以テ有名ナル甌島中ノ長濱、青瀬、瀨尾、近海ニ於テ試験ヲナスコト、シ五月中旬ヨリ七月初旬マテ同地ノ當業者ニ貸與シタルモ元來該地方ノ漁業者ト稱スル者多クハ農業ヲ主トスル兼業者ニシテ時期恰モ農繁ノ時ニ當リシト一ハ羽鯉ノ來游少ク且ツ天候モ淋雨勝チニテ出漁シ得サリシコト多カリシ等ノ爲メ充分ニ乘込漁夫ヲ雇入ル、コト能ハスシテ終リタリ

七月中旬ヨリ九月中旬ニ至ル間ハ同島里村近海ニ於テ本場直接試験ニ從事シ獨リ晝間沖出ヲ爲スノミナラス夜間焚入ヲナス等種々ナル方法ヲ試ミタリ

## 試験日誌

本年ハ甌島沿岸多數ノ羽鯉大敷網モ一トシテ利益ヲ見ルヘキ漁額ヲ得タルモノナク又同地方ニハ例年出水郡阿久根地方ヨリ出漁シ羽鯉夜焚釣ヲナスモノ多數ニシテ一夜能ク八百餘尾ヲ釣獲スルコト稀ナラスト雖トモ本年ハ數夜間焚入ヲナシタルモ一尾モ漁獲スルコト能ハサリシヲ以テ遂ニ全ク出漁者ナキニ至レル等羽鯉ノ來遊殆ト皆無トモ稱スヘク隨テ試験網ニ於テモ亦多少ノ雜漁ヲ捕獲シタルニ止マリシハ實ニ遺憾ナリ然レトモ之レ全ク魚群ニ遭遇セサリシニ因ルカ故ニ三十八年度ニ於テモ尙ホ引續キ試験ヲナサントスル豫定ナリ

## 日誌

月日	時刻	漁場	天候	風位	風力	水深	潮	海	主ナル	記	事
七月二十九日	九時十分前	白瀬鼻	晴	北西	軟	二〇尋	東	清	ナシ		
同日	十時五十分前	同	同	同	同	同	同	同	一大頭龜		
同日	〇時十分後	里灣	同	同	同	一七尋	同	清	ナシ		
七月三十日	八時前	いち浦	同	北々西	和	一一尋	南東	同	雜十五斤魚		
同日	九時十五分前	同	同	同	同	一六尋	同	同	雜十斤魚		
同日	十時卅五分前	同	同	同	同	二〇尋	同	同	ナシ		
七月三十一日	-	北ノ曾根	同	西	軟		北	同		北ノ曾根ニ出漁シタルトモ潮流急ニシテ使網スルコト能ハス	
八月一日			曇	北東	強					時化ノ爲沖出チナサス	
八月二日			晴	西北西	強					同	
八月三日			同	北東	疾					同	
八月四日		中ノ瀬	同	西北西	和		南	清		焚入チナシタルニ鯧群集多カリシモ鯧類ヲ認メサリシニツキ使網セス	
八月五日		北ノ曾根	同	同	軟		東	濁		焚入チナシタルモ鯧類ノ群集ヲ認メス	
八月六日		前ノ曾根	同	南西	同		南	同		同	
八月七日		北ノ曾根	曇	南	同		同	同		同	
八月八日		同	曇	西	和		東	清		同	
八月九日		同	晴	同	軟		同	同		同	
八月十日		同	同	同	和		同	同		同	

八月二十九日	八月二十八日	八月二十七日	八月二十六日	八月二十五日	八月二十四日	八月二十三日	八月二十二日	八月二十一日	八月二十日	八月十九日	八月十八日	八月十七日	八月十六日	八月十五日	八月十四日	八月十三日	八月十二日	八月十一日
田ノ尻沖	沖ノ小島 北ノ曾根	同	北ノ曾根				いちノ浦						金山沖	のーぜ鼻	北ノ曾根	金山沖	北ノ曾根	のーぜ沖
晴	曇	同	同	同	同	同	同	晴	同	同	雨	曇	同	同	同	同	晴	曇
南	北西	同	北東	南西	北東	西	北東	北西	南東	東	南	東微北	東	南東	同	南	東	同
和	同	同	同	軟	和	同	同	軟	同	暴	同	疾	同	和	軟	和	軟	同
東	同	同	南				東						同	南	北	北東	西	南
緩	同	同	急				緩						同	緩	急	緩	同	急
濁	同	同	清				濁						濁	同	同	同	清	濁
同	同	同	魚群ヲ認メス	同	同	網修繕チナス	いちノ浦ニテまんば群ニ相遇シタレントモ 游足速ニシテ使網スルノ速ナシ	波浪高ク出漁スルコト能ハス	同	同	同	時化ノ爲メ出漁スルコト能ハス	同	同	同	同	同	同
																	晝間沖出チナシタレントモ魚群ヲ認メス	同

八月三十日	八月三十日	九月一日	九月二日	九月三日	九月四日	九月五日	九月六日	九月七日	九月八日	九月九日	九月十日	九月十一日	九月十二日	九月十三日	九月十四日	九月十五日	九月十六日
						午後十二時三十分				午後十時四十分							
のし鼻沖	同			前ノ曾根	北ノ曾根	同	同			中ノ瀨						中ノ瀨	田尻沖
同	曇	晴	曇	同	曇	晴	同	雨	同	晴	雨	曇	晴	同	同	同	同
東	同	南東	東	西	南西	北西	西	南	南東	西	南	東	南東	北西	北	北西	同
軟	和	強	軟	同	同	和	和	軟	和	同	軟	強	軟	同	同	和	軟
										三五尋							
北	南		西	同	北	同	北			北			西	南		東	南西
極急	急		緩	急	急	緩	急			緩			極急	急		急	緩
清	濁		清	同	同	同	同			清			清	同	清	清	同
多クノ魚群ヲ認メタレトモ潮流急ニシテ使網スルコト能ハス	魚群ヲ認メタレトモ游足早クシテ使網スルコト能ハス	二百十日ニツキ沖出チナサス	時化ノ爲メ沖出チナサス	魚群ヲ認メス	同	焚入チナシタルニ鯖ノ集マレルヲ認メタルニツキ使網シタレトモ漁獲ナシ	魚群ヲ認メス	雨天ノ爲メ沖出チナサス	同	焚入チナシタルニ魚類ノ多少集合セルヲ認メタルニツキ使網シタルニ漁獲ナシ	雨天ノ爲メ沖出チナサス	時化ノ爲メ沖出チナサス	焚入チナシダレトモ魚群ヲ認メス	同	網修繕チナス	焚入チナシダレトモ魚群ヲ認メス	晝間沖出チナシダレトモ魚群ヲ認メス

# 鰻揚線網試験

本試験ハ三十六年度ヨリ繼續ノ事業ニシテ同年度有明灣ニ於テ試験ヲナシタルモノ多キヲ以テ本年度ニ於テハ一ハ獎勵ノ爲メ又一ハ本業ニ熟練ナル漁夫ヲ養成スルノ目的ヲ以テ贈嶮郡東志布志村ノ熱心ナル當業者ニ貸與シ三十七年十一月中旬ヨリ約四十日間試験ヲナサシメタリ然ルニ地方ノ狀況ニ依リ前年使役シタル漁夫ハ僅ニ數名ノ外使役スルコト能ハサリシヲ以テ隨テ操業敏活ナラス非常ナル魚群ニ遭遇シツ、尙且豫期ノ如ク大漁ヲ爲スコト能ハサリシハ實ニ遺憾ニ堪ヘサル處ナリト雖トモ漁獲物質實却額參百餘圓ニ及ヒタルヲ以テ當業者益々本網ノ良好ナルコトヲ信スルコト深ク之レカ新調ノ設計ヲ本場ニ願出ルモノアルニ至レルハ喜フヘキ現象ナリトス

## 日誌

月	日	時刻	漁場	天候	風位	風力	潮		海水	漁獲物		記	事
							方向	緩急		清濁	種類		
十一月十八日		午前七時二十分	北ピロ、東方島	晴	北西	軟	南西	緩	濁	ナシ		魚群ヲ認メタルモ游泳速ナリ	
同		午前八時五十分	同	同	同	同	同	同	同	まいわし	三百尾	魚群ノ游泳速ナリ	
同		午前〇時三十分	東ピロ、東方島	同	同	同	同	同	同	ナシ		魚群ヲ圍繞シタレトモ漁夫不熟練ノ爲大部分ハ逃逸セシメタリ	
十一月十九日		午前七時	北ピロ、東方島	曇	西	同	南東	緩	同	まいわし	四千尾	潮流急ニシテ使網困難ナリ	
同		午前十一時十分	同	同	同	同	北東	極急	同	ナシ			
同		午前〇時二十分	同	同	同	同	同	同	同	ナシ			
十一月二十日		午前七時二十分	同	晴	同	和	北	緩	清	ナシ		魚群ノ游泳速ナリ	

日誌



十二月廿一日	同	十二月廿二日	同	同	十二月廿三日	同	十二月廿四日	同	十二月廿五日	同	十二月廿六日	同	十二月廿七日	同	十一月廿八日	同	十一月廿九日	同	十一月三十日	同	十二月一日	同	十二月二日	同	十二月三日	同	十二月四日	同	十二月五日	同	
八時十分前	九時五十分前	九時三十分前	十時二十分前	〇時四十分後	六時三十分前	七時前	九時前	八時前	九時五十分前	十時五分前	十時前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前	九時五十分前		
同	同	北ビロ-島	同	同	夏井沖	東ビロ-島	同	同	同	北ビロ-島	同	同	同	同	南東方	同	同	同	北ビロ-島	同	北ビロ-島	同	南ビロ-島	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	同	晴	曇	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	晴	雨	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
北西	同	同	同	同	西	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	北	北	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
軟	同	同	同	同	強	同	同	同	〇	同	同	同	同	同	同	同	同	同	軟	強	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
南西	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
濁	同	同	同	同	清	同	同	同	同	同	同	同	同	同	濁	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
きす	ナシ	いわし	ナシ	ナシ	うるめ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	いわし	いわし	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	
三十尾		四十尾			九尾										七千六百五十尾	一万〇八尾															
魚群ノ游泳速ナリ		魚群ノ游泳速ナリ			雨天ノ爲メ沖出チナサス																										

日誌	十二月十六日	十二月十五日	十二月十四日	十二月十三日	同	十二月十二日	十二月十一日	十二月十日	十二月九日	十二月八日	同	十二月七日	同	同	同	十二月六日	同	同	同
	十時三十分前				十時四十分前	八時三十分前		八時十分前	八時三十分前		十時三十分前	九時五十分前	一時三十分後	十時二十分前	九時三十分前	八時四十分前	三時三十分後	二時三十分後	〇時三十分後
	北ビロコ島				北ビロコ島	同		東ビロコ島	北ビロコ島		北ビロコ島	北ビロコ島	東ビロコ島	同	同	北ビロコ島	同	同	北ビロコ島
	晴	曇	同	雨	同	曇	同	同	同	同	同	晴	同	同	同	曇	同	同	同
	西	同	南	南東	同	北々西	同	南東	北西	同	同	同	同	同	同	北西	同	同	同
	軟	微	軟	同	同	微	軟	同	微	同	同	和	同	同	同	同	同	同	同
	南東				同	北西		同	北東		同	南東	同	同	同	南西	同	同	同
	急				同	緩		急	同		同	緩	同	同	同	稍急	同	同	同
	清				同	清		同	濁		同	同	同	同	同	清	同	同	同
	ナシ				いわし	いわし		ナシ	いわし		いわし	ナシ	いわし	ナシ	いわし	いわし	いわし	ナシ	ナシ
					八尾	七千六百 十八尾			四百尾		千五百尾		二十尾		五十尾	千九百尾	三万九千 三百六十尾		
	魚群ヲ認メタレトモ游足速ニシテ捕獲スルコト能ハス	同	同	雨天ノ爲メ冲出チナサス				沖出チ休ミ網修理チナス	數同使網シタレトモ魚ノ游足速ニシテ圍繞スルコト能ハス 大魚群ヲ圍繞シタレトモ網裾閣礁ニ懸リ大破損チナシ一尾モ捕獲スルコト能ハス	沖出チ休ミ網修繕チナス	非常ナル大群ヲ圍繞シタレトモ表筋網切斷シテ僅カニ一部分ヲ捕獲シタリ	同	魚群ノ游泳速ニシテ捕獲スルコト能ハス					同	魚群ノ游泳速ニシテ捕獲スルコト能ハス

十二月廿五日	同	同	十二月廿四日	十二月廿三日	十二月廿二日	十二月廿一日	同	同	同	同	同	十二月二十日	同	同	十二月十九日	同	十二月十八日	十二月十七日
	午十一時十分前	午九時二十分前	午八時十五分前				午三時三十分後	午一時二十分後	午〇時十分後	午九時三十分前	午九時四十分前	午八時十五分前	午七時一十分前	午九時前	午七時二十分前	午十時前	午九時前	午八時前
同	同	北東	河志			近	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	北東
		方島	口志			海島												東島
同	同	同	同	晴	雨	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
西	同	同	北西	西	北西	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
軟	同	同	和	強	和	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	軟	同	同
南	同	同	南東			同	同	同	同	同	同	同	南	同	同	同	同	同
西			緩			急	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
清	同	同	濁			濁	同	同	同	同	同	同	同	同	同	清	同	濁
ナシ	いわし	ナシ	いわし			ナシ	いわし	いわし	いわし	いわし	いわし	ナシ	いわし	小鯛	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
	一萬尾		二万尾				千尾	五百尾	千尾	五千尾		千尾		六十尾				
魚群ヲ認メス		魚群ノ游泳速ニシテ捕獲スルコト能ハス		強風ノ爲メ出漁セス	雨天ノ爲メ出漁セス	魚群ヲ認メス						魚群ノ游泳速ニシテ捕獲スルコト能ハス			同	同	同	同

## 鱧延繩貸與試驗

本試驗モ前年度ヨリ繼續ノ事業ニシテ同年度試驗ノ結果相當ノ漁獲アリシヲ見テ將來斯業ノ有望ナルヲ悟リ漁具ノ貸與ヲ願出ルモノ多シ依テ熊毛郡上屋久村宮ノ浦鹿兒島郡谷山村川邊郡西加世田村片浦ノ三ヶ所ニ於ケル漁業者ニ貸與シタリシニ片浦ノモノハ天候其他ニ妨ケラレ豫期ノ如ク出漁スルコト能ハサリシニツキ隨テ好果ヲ收ムルコト能ハサリシト雖トモ谷山村ノモノハ大ニ好結果ヲ得タリ又屋久島近海ニ於テハ鱧ノ形體大ニシテ繩ノ大サ之レニ適合セサルコトヲ知リ得タルヲ以テ明年度ニ於テハ大分縣佐賀關漁業者ノ使用スルモノニ則リ從來ノモノヨリ堅牢ニ製作シ之ヲ貸與試驗ニ附シ大ニ南方諸島ノ鱧漁ヲ獎勵セントス

### 谷山村河野嘉助へ貸與延繩漁業の收支計算報告

漁場	漁期	主ナル漁獲物	漁獲物賣却價額	餌料	餌料購入價額	食料其他雜費	乗込人員	利益
宮崎縣近海 屋久島沖	自十一月 至六月	まふかたひ ひれたか	八〇〇、〇〇〇 <small>圓</small>	雜魚 其他	一二六、〇〇〇	二四〇、〇〇〇	五人	四三四、〇〇〇

## 旗魚延繩貸與試驗

本試驗モ亦三十六年度ヨリ繼續ノ事業ニシテ鹿兒島郡谷山村、川邊郡西南方村久志、熊毛郡上屋久村宮之浦ニ於ケル熱心ナル漁業者ニ貸與シタリ前年度報告ニモ述ヘタル如ク本漁業ハ餌料ニ活魚ヲ要スルヲ以テ漁夫ノ熟練ヲ要スルコト大ニシテ鱧延繩ニ於ケルカ如ク迅カニ好果ヲ收ムルコト能ハサレトモ尙試業者ハ相當ノ收利ヲ得ルニ至レリ元來本縣近海ニハ旗魚ノ來游尠カラサルヲ以テ今後漁具ノ使用法愈熟練スルニ於テハ其收益一層多大ナル可シト各漁業者共ニ唱導スルコト盛ナリ

西南方村中村嘉次郎へ貸與延繩の漁獲高報告

南 薩 沖	漁 場	漁 期	漁 主 獲 物	漁 却 價 額	餌 料	乘 込 人 員
		自九月二十日 至十一月六日	秋太 藤郎	四四、三三九	活活 柔 鯖魚	五 人

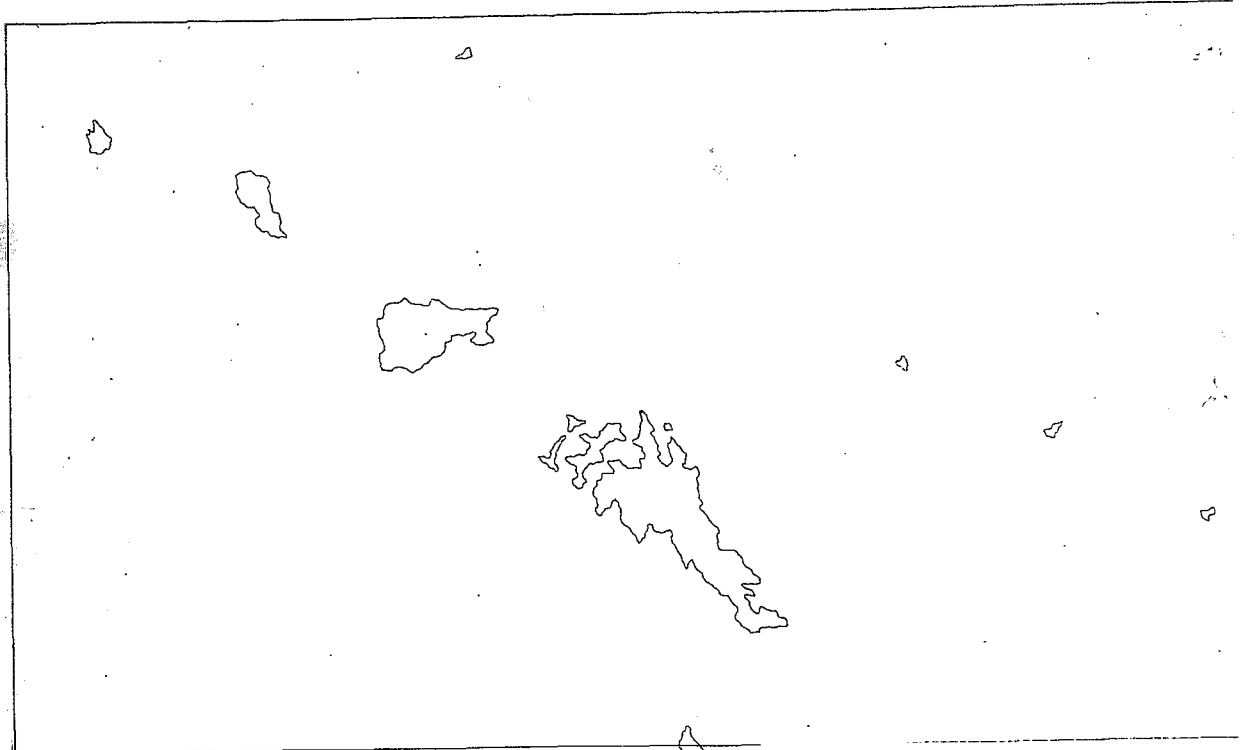
講 話

明治三十七年十二月中一週間川邊郡東南方村枕崎ニ於テ川邊郡教育會ノ開設セル教員講習會ニ於テ講話ヲナシタリ其講話項  
目ノ概要左ノ如シ

- 一 水 産 總 論
- 一 漁 撈 大 意
- 一 製 造 大 意
- 一 養 殖 大 意

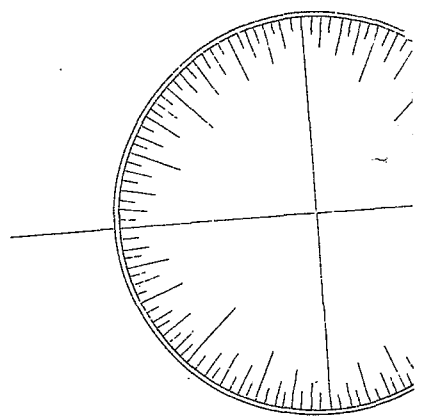
要之講習生一般ヲシテ水産學ノ大意ヲ知得セシメタルコトヲ認ム

其 二

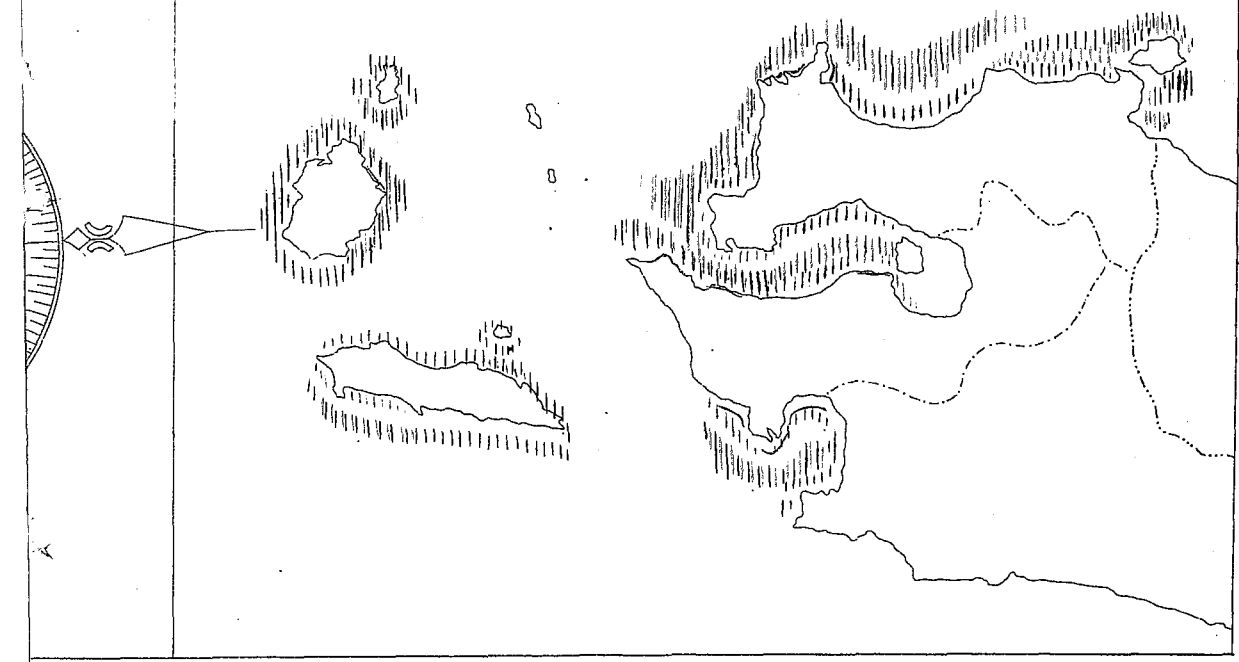
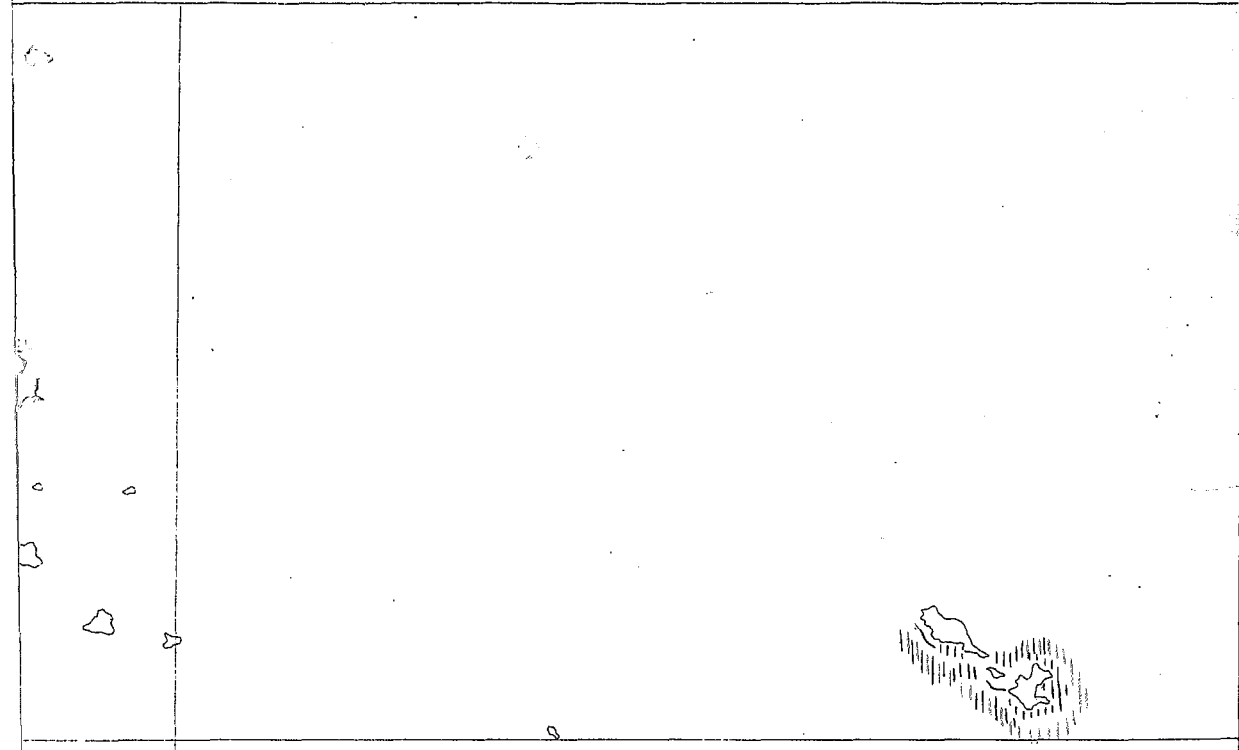


凡 例

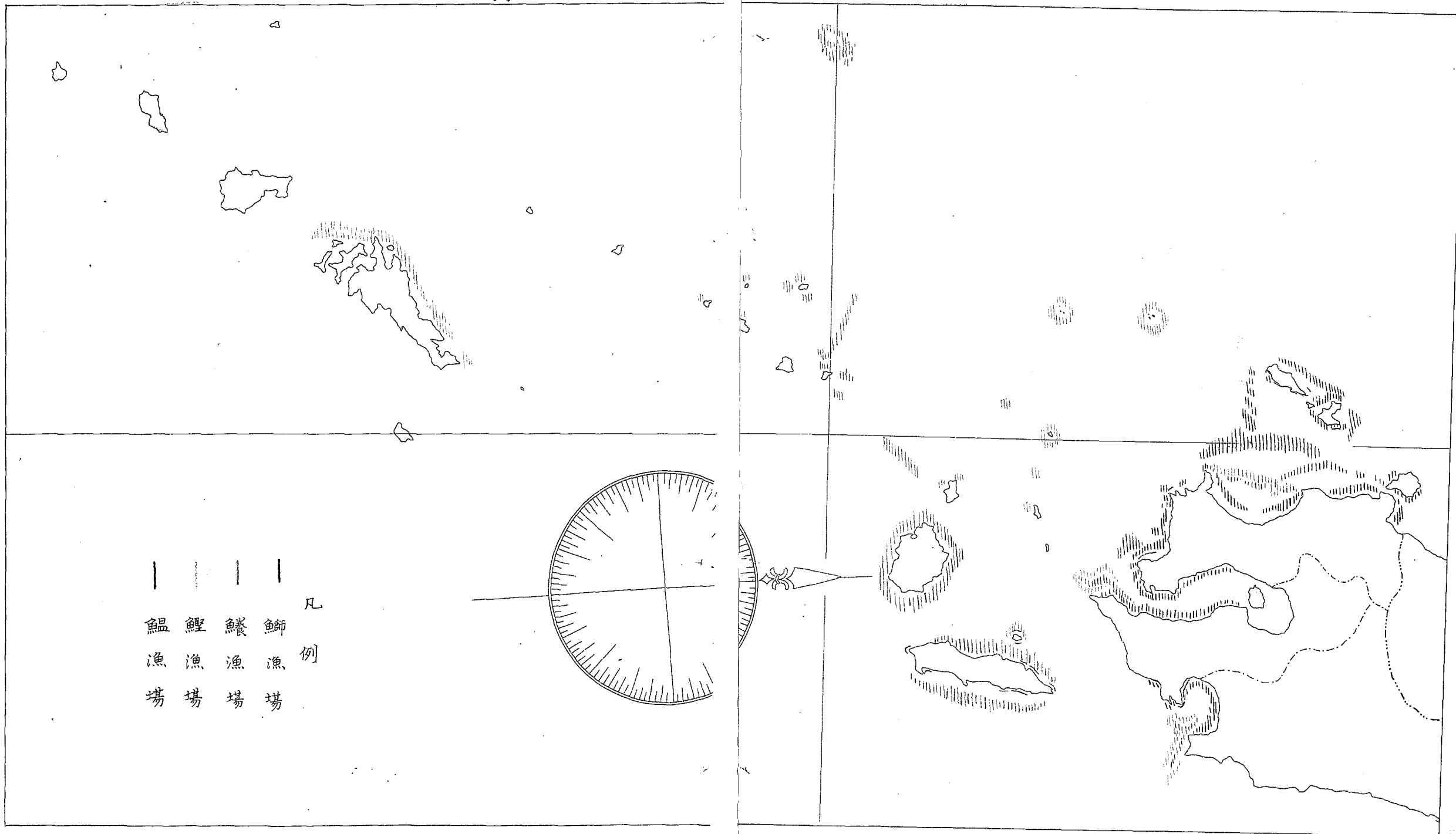
—	—	—	—
鯛	柔	鯖	鮭
漁	魚	漁	漁
場	場	場	場



同 上



鹿兒島縣重要魚場畧圖 其一



凡例

鯷	鰹	鱸	鰺
魚	魚	魚	魚
場	場	場	場

明治三十九年三月二十日印刷

明治三十九年三月廿五日發行

# 鹿兒島縣水產試驗場

東京市芝區三田四國町二番地

印刷者 門岡 駒太郎

東京市芝區三田四國町二番地

印刷所 合資 三田印刷所

(電話新橋一六六五)